

THE SHIGA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.173 (2012-4)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2012. 8. 1発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-0804 大津市本宮2丁目9-9
大津市民病院 リハビリテーション部
電話 077-526-8357 FAX 077-521-5414

編集者：田村 瑠亜(ひかり病院)
前田 将樹(山田整形外科病院)
小倉 正和(公立甲賀病院)

印刷所：(有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

がんのリハビリテーション

～当センターでの取り組みと今後の方向性について～

滋賀県立成人病センター 理学療法士 赤 田 直 軌

平成19年6月に策定された「がん対策推進基本計画」から5年が経過し、この度、今年6月に見直しが行われました。この中に「リハビリテーションの現状について、治療の影響から患者の嚥下や呼吸運動などの日常生活動作に障害を生じることがあり、また、がん患者の病状の進行に伴い、次第に日常生活動作に障害を来し、著しく生活の質が悪化することがしばしば見られることから、がん領域でのリハビリテーションの重要性が指摘されている」とあります。滋賀県立成人病センター(以下、当センター)では、平成21年に都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、がん診療に対する取り組みの強化を図っています。リハビリテーション(以下、リハビリ)科においても、様々な取り組みを行っていますので紹介いたします。

センター内での活動としては、①乳がん患者へのリンパ浮腫予防及び肩関節可動域制限予防を目的とした術前・術後のリハビリ介入②消化器がんの外科的治療に伴う廃用予防を目的とした周術期での介入(リハビリパス作成)③緩和ケアチームへの作業療法士の参画を行っています。消化器がん患者への周術期でのリハビリ介入では、入院日数の短縮による早期退院が成果としてみられています。

センター外での活動としては、①関係職種に対してがんのリハビリの啓発と知識・技術の向上を目的とした「がんのリハビリテーション研修会」の開催(1回/年)、②県内各施設におけるがんのリハビリの現状や問題点などの情報交換を行う「県内拠点病院の意見交換会」の開催(1回/年)、③がんのリハビリについての研究やより高度なリハビリの提供を目的として京都大学・神戸大学・大阪医科大学とともに「関西がんのリハビリテーション研究会」を発足しました。

県内拠点病院の意見交換会では、昨年度に県内拠点病院から各施設のがんのリハビリの現状についての課題として、がんのリハビリの知識・認知の不足があげられ、

体制づくりの準備段階であるというような意見が多く聞かれました。今年は、昨年の状況をそれぞれの施設が踏まえた上で、この1年での進捗状況について報告や意見交換を行う予定です。関西がんのリハビリテーション研究会では、臨床研究や症例検討を通してエビデンスを蓄積し、ガイドラインへの提言やがんのリハビリテーションの確立に寄与するための活動(研究会)を3回/年行っています。

今後の課題としては、センター内の乳がんに対する取り組みの結果検証を行っていくことやスタッフ間でのがんのリハビリに対する理解や提供サービスの均てん化のための勉強会の開催を積極的に行っていくこと、リハビリパスの対象疾患の拡充・拡大、緩和病棟以外の一般病棟も含めた緩和的リハビリの充実などがあげられます。

今後のがんのリハビリの展望は、今回のがん対策推進基本計画の見直しの趣旨にもあるように、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会」を目指していくことです。この目標を達成するためには、当センターも含めたがん連携拠点病院を中心に、症例検討・勉強会を通じてEBMを積み重ね、課題を浮き彫りにすること、そして医療従事者として貢献できる可能性のある方向性を示していくことが求められています。具体的な新しい取り組みとしては、現在当センターで検討中のICT (Information and Communications technology) プロジェクトの中でリハビリプログラムを取り入れていく方針です。また、退院後の働く世代のがん患者に対して就労に関するニーズや課題を明らかにしてリハビリがどのように貢献していけるのかを検討していくための準備を進めています。

今年の滋賀県がんのリハビリテーション研修会は、平成24年11月23日(金・祝)に「がんとともにどう生きるか、どう支えるか」～自己実現に向けて～のテーマで当センターにおいて開催予定です。多数のご参加お待ちしております。

平成24年度 第1回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録(要約)

日 時 平成24年4月12日(木) 18:30～20:30
会 場 滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部
出席理事 本白水博、平岩康之、松岡昌巳、宇於崎孝、酒井英志、柴田健治、武田庄策、
弘部重信、久保貴弘現在理事数11名 監事数2名
議 長 定款の定めにより本白水会長とする。

○報告事項

各部・各委員会の活動について

事務局：平岩事務局長より報告

公益法人認可され、4月1日付で登記手続きを行っている状況である。

総務部

会員異動は以下のとおりである

異動種別	件数
休会	5
県内異動	2
退会	1
転出	1
転入	2
入会	1
施設数	109
会員数	639

ホームページの原稿受付を総務部に統合。担当者を滋賀医大理学療法士 岩井氏にお願いしている。

財務部：監事による監査実施

職能部：松岡理事より報告 特になし

IT部：平岩事務局長 総務部に統合 窓口変更(総務部参照)

広報部：士会ニュース4月号発行

厚生部：久保理事より報告。6月24日に新人歓迎会を行う。案内を折り込みに入れる。

研修部：宇於崎理事より報告。5月20日に第1回研修会。研修会資料について印刷依頼。

介護保険部、診療報酬部：柴田理事より報告。4月6日に第1回診療報酬部会開催。4月22日に診療報酬改定意見交換会実施予定。

保健福祉部：特になし

公益事業部：酒井理事より報告。おおつ健康フェス

ティバルに関して、今年度は士会独自のものを考えている。理学療法週間活動助成に応募する。

表彰委員会：特になし

教育部：弘部理事より報告。卒後教育アンケートの意見についての報告があった。

その他：特になし。

○その他報告事項

宇於崎理事より需給調査委員会の調査結果を湖都に掲載した。県内のPT需要が少ない結果になり、雇用促進に関する活動が必要と考える。

次回、学術集会の学会長は近江草津病院の和田定士氏にお願いした(本白水会長)。

○理事の意見、意向

ホームページ窓口変更に関しては、メーリングリストでも案内してほしい(柴田理事)。

教育部のアンケートにおいて会費が高額であるという意見もあるが、前年度の財務状況から見ても、収支が赤字となっており、会費が下げられる状況ではない(平岩事務局長)。

需要拡大、雇用促進は重要な課題であり、具体的な活動方針があるようなら、年度内でも補正予算を組みたい(平岩事務局長)。

○審議事項

議題1 平成24年度予算、事業計画について

報告・説明

平岩事務局長より報告。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題2 休会について

報告・説明

平岩事務局長より報告。休会申請が5 名あり承認されたい。

質疑応答 なし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題3 理事会のあり方について

報告・説明

今年度より理事会の実施回数を減らすに当たり理事会のあり方について検討したい。4 役会は理事会で議論できない部分について議論する場としたい(本白水会長)。

質疑応答

今年度より理事会の権限はこれまで以上に大きくなり、総会の規模が小さいものに近い。資料、議事録作成には、これまで以上に時間を費やす必要があり、そのためにも隔月程度にしていたきたい。4 役会は理事会の議案を練ることが重要な役割となります(平岩事務局長)。

理事会が少なくなるなら、各部長からの報告の頻度、期日のルールを徹底することや理事からの情報提供を頻回に行っていただきたい(柴田理事)。

議 決

理事会、4 役会のあり方に関しては施行錯誤

して行っていく。理事会報告、情報提供に関しては事務局長より案内することで、議題は、満場一致で承認された。

議題4 組織の見直しについて(本白水会長)

報告・説明

次期役員改選後、生涯学習部を生涯学習管理部と生涯学習部に分ける。

生涯学習部は主に生涯学習研修会を実施することが業務となる。生涯学習管理部は生涯学習ポイント管理と生涯学習システムに関する情報提供が業務となる。

質疑応答

生涯学習システムはシステムの変更やWEB管理になるなどかなり煩雑になっており、業務分担を進めるべきである(平岩事務局長)。

議 決

議題は、満場一致で承認された。



平成24年度 公益社団法人滋賀県理学療法士会定時総会議事録(要約)

開催日時 平成24年5月20日(日) 15:15～16:30

開催場所 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4

滋賀県立男女共同参画センター 大ホール

出席社員数 総社員633名中、出席社員382名(本人出席 28名 委任状出席 354名)

出席理事 本白水博 平岩康之 松岡昌巳 宇於崎孝 弘部重信 酒井英志 柴田健治
出席監事 並河 孝

議長選任の経過

定刻15時15分時に副会長平岩康之が開会を宣し、本日の社員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。続いて議長の選任を諮ったところ、満場一致を持って杉澤輝彦氏が議長に選任された。

議長より挨拶の後、議事録署名人と書記を指名したい旨を述べたところ、異議なく賛成があったので、議長は、次の者を議事録署名人および書記に指名した。

議事録署名人 川端 拓朗 本白水 博

書記 岩井 宏治 田中 大

1. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第1号議案 平成23年度事業報告の件

表記の議題について各担当理事より議案書に基づき説明があった。

(1号事業 宇於崎理事、2号事業 柴田理事、3号事業 酒井理事、4号事業 弘部理事、5号事業 松岡理事、6号事業 平岩理事)

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第2号議案 平成23年度決算報告の件

表記の議題について平岩理事より議案書に基づき貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録について説明があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第3号議案 平成23年度監査報告の件

並河監事より監査報告があった。監査の結果、事業はすべて計画通り行われており会計も適正に処理されている旨を報告された。指導内容としては、公益社団法人になり、益々公益事業を推進させ、一般県民のための会として発展させていただきたいとの発言があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第4号議案 平成24年度事業計画・収支予算に関する件

表記の議題について各担当理事より議案書に基づき説明があった。

(1号事業 宇於崎理事、2号事業 柴田理事、3号事業 酒井理事、4号事業 弘部理事、5号事業 松岡理事、6号事業 平岩理事、収支予算 平岩理事。)

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第5号議案 役員の選任に関する件

議長の指名により選挙管理委員会委員長の小澤和義氏が役員選挙について報告を行った。

平成23年12月1日付役員選挙告示において役員立候補を募ったところ定数11名に対して、以下の11名の理事の立候補者があった。また、監事については、定数2名に対して1名の立候補

があったとのこと。

理事立候補者11名、本白水博、平岩康之、松岡昌巳、宇於崎孝、弘部重信、酒井英志 柴田健治、久保貴弘、石井隆、川崎浩子、町本高章。

監事立候補者1名、前川昭次。

議長より監事立候補者1名の欠員の補充について、議場に尋ねたところ特に意見がなかった。議長はこの件に関して執行部一任とすることを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

本白水会長より監事1名の欠員に関しては並河孝氏を推薦したい旨を報告された。

理事立候補者11名について議長が信任を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

監事立候補者1名並びに、執行部より推薦のあった並河孝氏について議長が信任を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第6号議案 入会金の規定に関する件

平岩理事より資料に基づき、定款細則会員の位置づけ及び会費に関する細則の「第3条4項 入会金は2,500円とする。」を追加したい旨の説明があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第7号議案 名誉会員に関する件

表記の議題について平岩理事より議案書に基づき小寺利秀氏を名誉会員としたい旨の説明があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第8号議案 登記所在地の変更に関する件

平岩理事より、滋賀県理学療法士会（主たる事務所）の登記所在地を「滋賀県東近江市北坂町967番地滋賀県医療技術専門学校内」から「滋賀県東近江市北坂町967番地滋賀医療技術専門学校内」に変更したいと説明があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

平成24年度 公益社団法人滋賀県理学療法士会臨時理事会議事録

開催日時 平成24年5月20日(日) 16:35～16:50
開催場所 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
滋賀県立男女共同参画センター 大ホール
出席理事 本白水博 平岩康之 松岡昌巳 宇於崎孝 弘部重信 酒井英志 柴田健治
町本高章 川崎浩子
定足数確認
16時35分時に理事本白水博が開会を宣し、本日の臨時理事会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

1. 議長選任

議長は定款の定めにより会長が行うことに定めているが、本日の臨時理事会で新会長を選任するまでは会長不在となるため、前会長本白水博が議長を務めることを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

1. 会長、副会長の選任について

議長は、各理事に対して会長、副会長の立候補の希望を募ったところ、立候補の申し出はなかった。前会長本白水博の推薦により、会長本白水博、副会長平岩康之、副会長松岡昌巳、副会長宇於崎孝を選任することを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

平成24年度 公益社団法人滋賀県理学療法士会第2回理事会議事録

日 時 平成24年6月14日(木) 18:00～20:30
会 場 滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部
出席理事 本白水博 平岩康之 松岡昌巳 弘部重信 酒井英志 柴田健治
町本高章 川崎浩子 石井隆
出席監事 前川昭次
現在理事数 11名 **監事数** 2名
欠席者 欠席理事 宇於崎孝 欠席監事 並河孝
議 長 本白水 博 (定款の定めによる)
定足数確認

18時00分時に理事本白水博が開会を宣し、本日の臨時理事会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

○報告事項の経過の要領

1. 各部、各委員会の報告

事務局：平岩理事より資料に基づき会員数、施設数、異動件数について報告。総会、臨時理事会終了後、役員登記の手続きを小澤事務所に依頼した。
公益事業部：酒井理事より報告 部長は現在欠員
酒井理事が当面代行すること。
広報部：石井理事より報告

士会ニュース6月号発行。

士会ニュースに他の団体等の研修案内の掲載依頼、広告依頼、求人依頼が時々あり、どのように処理すればよいとの報告あり、外部からの依頼については全て事務局で対応することになった。また、広告料等の設定については4役会で協議し、次回の理事会で審議することとすることになった。

柴田理事より安易にニュースに求人を載せると、会員の異動を助長して施設に迷惑をかけるのではないかという意見が出された。当面の間会員用ホームページにのみ求人を載せる方向で申し合わされた。ただし、施設の広告を兼ねた求人は有料で載せるのは差支えないとの意見が出された。

厚生部：石井理事より報告

新人歓迎会 平成24年7月29日 46名参加予定。
フォトコンテストの応募が現在0名である。

研修部：平岩理事が代行報告

第1回研修会終了。

講習会事業部：平岩理事が代行報告

平成24年7月8日 協会主催の理学療法講習会基礎編が成人病センターにて行われる予定。

生涯学習管理部：生涯学習部 川崎理事より報告。
第1回研修会時カードリーダーでの登録が大きな問題なく実施できた。

協会マイページのパスワード問い合わせ多く、協会に問い合わせてもらうように返答している。昨年度までの単位認定 今年度に入ってから問い合わせ多い。問い合わせがあればその都度協会に報告している。

今年度よりボランティア活動も単位認定する予定。士会主催または後援のものは認めたいので開催予定があれば生涯学習管理部まで報告してほしい。

今年度より新しい新人教育プログラムのカリキュラムとなっているが、今年度全てできない予定。

学術誌部：弘部理事より報告

学術誌原稿依頼、査読の願いを送付する。

教育部：弘部理事より報告

研究助成の事業実施要項作成。

診療報酬部：柴田理事より報告

6月に部会実施予定。

介護保険部：柴田理事より報告

訪問リハの二重診療の件について県より情報を得ている。公式な文書はないため臨時に情報交換会を行い、情報提供してはどうかという案が出された。介護保険部内で検討していただく。

職能部：松岡理事より報告

現在まだ活動していない。

保健福祉部：松岡理事より報告

平成24年6月17日研修会 「脳性まひの理学療法の変遷」を大津市民病院にて行われる予定。

公益事業部：酒井理事より報告

理学療法週間、協会の助成に応募したが、理学療法週間の時期とずれるために却下されたとのこと。広報用のリーフレット300部、ポスター250

部をヴォーリズ記念病院で保管している。

おおつ健康フェスティバル 明日都浜大津

平成24年7月2日 申し込み締め切り、申し込み予定

近畿ブロック会議 本白水会長より報告

平成24年6月2日 新大阪丸ビルにて開催。
山口後援会 協会をあげて参議院選挙を応援すること。

地域包括ケアについて

京都では組織化されている。他の県ではあまり取り組まれていない。

第51回近畿理学療法学会大会監査実施 収支報告を行った。

第52回近畿理学療法学会大会 平成24年11月11日に奈良士会担当で行われる予定。

平成24年7月15日 滋賀県理学療法学会集会

川崎理事より報告。

ポスター 抄録発送 子ども席があることを案内。
フォトコンテスト同日に実施予定（厚生部）

○議事の経過の要領及び議案別議決の結果

議案1 修正予算について

平岩理事より資料に基づき、予算の修正を行いたい旨の説明があった。

質疑は特になかった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

議案2 相談役の選任について

平岩理事より今井至前々会長を定款30条に基づく相談役として推薦したい旨の説明があった。

石井理事より相談役とは何をする役なのかとの質問があった。相談役とは定款30条3号にあるとおり本会の運営に関して、会長の諮問に応え、または意見をいただく役であることを平岩理事が説明した。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

議案3 公印管理規定および公文書管理規定について

平岩理事より公印管理規定および公文書管理規定について定めたいとの旨の説明があった。

特に質疑はなかった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

議案 4 公益社団法人滋賀県理学療法士会活動助成事業要綱改正案について

弘部理事より公益社団法人滋賀県理学療法士会活動助成事業要綱について改正したいとの説明があった。第5条2項を追加する。
特に質疑はなかった。
議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

議案 5 役員組織について

本白水会長より役員組織について資料の平成24年度公益社団法人滋賀県理学療法士会役員組織図案についての説明があった。
事務局は財務、IT部を総務部に吸収して一本化する。生涯学習部を生涯学習管理部と生涯学習部に2分する。公益事業部は重要部門である

ため、酒井理事が担当理事として専任する。市民公開講座実行委員会を置く。吸引研修委員会を置く。担当理事の変更など。
議長は、この件に関して議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

議案 6 理事会のあり方、頻度について

本白水会長より定例理事会について、年6回としたいとの説明があった。
特に質疑はなかった。
議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

閉 会

以上をもって議案全部の審議を終了したので、議長は20時30分に閉会をした。

平成24年度 予算修正案

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	予 算 額	前 年 度 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業収入活動				
①基本財産運用収入	500	0	500	
②入会金収入				
入 会 金	100,000	125,000	△ 25,000	40名
③会費収入				
会 費	6,120,000	6,030,000	90,000	680名
賛 助 会 費	120,000	70,000	50,000	
④補助金等収入				
研修事業補助金	35,000	35,000	0	
そ の 他	200,000	300,000	△ 100,000	
⑤負担金収入				
会場費収入	150,000	805,000	△ 655,000	
⑥雑 収 入				
受取利息収入	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	6,727,500	7,367,000	△ 639,500	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
事 1 研修事業				
印 刷 製 本	170,000	272,600	△ 102,600	
会 議 費	270,300	199,500	70,800	雑費→会議費
雑 費				
諸 謝 金	426,000	1,014,000	△ 588,000	
賃 借 料	481,000	659,600	△ 178,600	学術集会
通 信 運 搬 費	356,160	138,200	217,960	
旅 費 交 通 費	230,000	537,000	△ 307,000	
消 耗 品 費	100,000	137,000	△ 37,000	
事 2 情報収集提供事業				
委 託 費	200,000	0	200,000	ホームページ
印 刷 製 本 費	726,600	677,900	48,700	
会 議 費	62,000	21,400	40,600	
雑 費	103,000	198,000	△ 95,000	委託費に含める
諸 謝 金	150,000	118,000	32,000	
消 耗 品 費	9,200	13,600	△ 4,400	
通 信 運 搬 費	344,520	49,820	294,700	
賃 借 料	20,000	8,000	12,000	
旅 費 交 通 費	52,500	35,000	17,500	

科 目	予 算 額	前 年 度 額	増 減	備 考
事 3 派遣および支援事業				
会 議 費	15,200	0	15,200	
旅 費 交 通 費	133,700	131,000	2,700	
通 信 運 搬 費	45,000	1,500	43,500	
消 耗 品 費	45,000	0	15,000	
雑 費	15,000	10,000	35,000	
事 4 研究事業				
会 議 費	12,000	16,000	△ 4,000	
消 耗 品 費	5,000	5,000	0	
旅 費 交 通 費	7,500	22,500	△ 15,000	
通 信 運 搬 費	5,000	16,800	△ 11,800	
雑 費	160,000	160,000	0	助成金
事 5 福祉厚生事業				
通 信 運 搬 費	0	45,000	△ 45,000	
保 険 料	0	50,000	△ 50,000	
旅 費 交 通 費	0	5,000	△ 5,000	
賃 借 料	0	150,000	△ 150,000	
旅 費 交 通 費	5,000	5,000	0	
福 利 厚 生 費	500,000	290,000	210,000	
②管理費支出				
委 託 費	400,000	200,000	200,000	
会 議 費	147,000	166,000	△ 19,000	
給 与 手 当	180,000	288,000	△ 108,000	
顧 問 料	360,000	860,000	△ 500,000	
雑 費	380,000	310,000	70,000	
消 耗 品 費	200,000	200,000	0	
通 信 運 搬 費	120,000	452,000	△ 332,000	
負 担 金 支 出	400,000	335,000	65,000	近畿学会、PTOTST
印 刷 製 本 費	0	60,000	△ 60,000	委託費に含める
渉 外 費	10,000	10,000	0	
福 利 厚 生 費	10,000	20,000	△ 10,000	
旅 費 交 通 費	200,000	214,000	△ 14,000	
事業活動支出計	7,056,680	8,102,420	△ 1,045,740	
事業活動収支差額	△ 329,180	△ 735,420	406,240	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①固定資産取得売却収入	0	0	0	
②その他固定資産取崩収入				
40周年積立預金取崩収入	0	2,482,400	△ 2,482,400	
士会事務所開設基金預金取崩収入	0	5,002,937	△ 5,002,937	
投資活動収入計	0	7,485,337	△ 7,485,337	
2. 投資活動支出				
①基本財産取得支出				
定期預金取得支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
②特定資産取得支出				
士会創立40周年事業積立預金取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	
③固定資産取得支出				
什器備品購入支出	200,000	630,000	△ 430,000	
投資活動支出計	200,000	7,630,000	△ 7,430,000	
投資活動収支差額	△ 200,000	△ 144,663	△ 55,337	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出				
予 備 費	0	0	0	
当 期 収 支 差 額	△ 529,180	△ 880,083	350,903	
前 期 繰 越 収 支 差 額	3,289,514	3,495,309	△ 205,795	
次 期 繰 越 収 支 差 額	2,760,334	2,615,226	145,108	

新人紹介



本 多 信 子

病院名：いそクリニック
出身：
趣味：料理

ひとこと： この春、滋賀医療技術専門学校を卒業し、四月からいそクリニックに勤務しております本多信子と申します。社会人として再出発して二か月が経ちましたが、今まで以上に、医療現場ならではの自分の責任の重大さ、未熟さを実感しています。忙しい毎日ですが、少しでも患者様の力になれるよう日々勉強していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



小 重 美 春

病院名：近江温泉病院
出身：鹿児島県
趣味：ボディボード・バスケットボール

ひとこと： 本年度理学療法士になりました小重美春と申します。

鹿児島県の専門学校を卒業後、滋賀県に就職し、現在近江温泉病院で働いております。趣味は、ボディボードとバスケットボールであり、スポーツ全般大好きです。私は、高校生の頃に、理学療法士に魅力を感じ始めました。そして、現在念願の理学療法士になることが出来、入職より3ヶ月が経過します。その中で、多くの事を吸収し、ケースを目の前にする中で、日々学びを得ることの大切さを実感しています。これからも、日々学ぶことを忘れず、質の高い治療を提供できるように励んで行きたいと思います。



西 川 麻 由

病院名：近江温泉病院
出身：滋賀県
趣味：読書・買い物

ひとこと： 4月から近江温泉病院に勤務させて頂いています西川麻由と申します。理学療法士として働きはじめて、覚えることがたくさんあり少し戸惑うこともあります。理解できるまで何度も教えてくださる先輩の先生方に助けていただきながら仕事を行っています。たくさんの患者さんと話をさせていただき自分の方が笑わせて頂いたり、勉強をさせて頂くことがたくさんあります。働きはじめてから自分はたくさんの人に助けてもらっていることを実感し、感謝しています。この感謝の気持ちを仕事で返していけるように頑張ります。これからよろしくお願いいたします。



西 村 有 可

病院名：近江温泉病院
出身：滋賀県
趣味：スノーボード、フットサル

ひとこと： 今年度より、滋賀県理学療法士会に入会させて頂きました西村です。三重県の大学を卒業し、現在は近江温泉病院で、意識の高い先生方の下で、患者さんの笑顔に支えられながら働かせて頂いています。今後、県士会で開催される研修会などに積極的に参加し、多くの方々と交流を深めていくことで、理学療法士としての視野を広げて行きたいと考えております。常に向上心を持ち、日々成長していけるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



田 中 元 輝

病院名：近江八幡市立総合医療センター
出身：滋賀県
趣味：フットサル

ひとこと： 新人理学療法士の田中元輝です。大人な先輩方、またさらに大人な患者さん方にご迷惑をおかけしながら楽しく勤務させて頂いております。患者さんの役に立つにはどうすればいいか、思い悩む毎日です。知識も技術もなく、患者さんのためにできることといえば笑顔でいることぐらいです。もっと患者さんの役に立つ武器を身に付けるため、勉強していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



寺 井 基 子

病院名：近江八幡市立総合医療センター
出身：滋賀県
趣味：スポーツ観戦、アウトドア活動全般

ひとこと： 初めまして。今年の4月に近江八幡総合医療センターに就職しました新人理学療法士の寺井基子です。私は4年間兵庫県姫路市の大学で学んでいたため、慣れ親しんだ地元、近江八幡で働けることを心から嬉しく思います。まだまだ理学療法士として未熟者ですが、先輩方から多くの知識・技術を、患者さんから元気をもらいながら1歩1歩確実にレベルアップしていけるようにがんばります。よろしくお願いいたします。



大志万 正 勝

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：ゴルフ、ドライブ、映画鑑賞

ひとこと： 神崎中央病院 リハビリテーション科
1年目 理学療法士の大志万正勝です。

入職して2・3カ月が経ち、担当の患者様の評価や治療をさせて頂いている中で、様々な難しさを感じています。しかし、その様々な困難に対して、自己学習や先輩方の助言によって自分なりの答えを導き出すことに達成感を覚え始めています。今後も患者様のADL・QOLを向上させることに多くの悩みが生じると思いますが、諦めず1つ1つ解決していきたいです。



森 菜 保 子

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：音楽、自転車

ひとこと： はじめまして、森菜保子と申します。

4月より神崎中央病院に勤務しております。臨床場面ではまだまだわからないことも多く、戸惑うこともあります。先輩方のサポートを得て毎日の業務に取り組んでいます。

私は「患者様の障害だけをみるのではなく、個性を大事にしてください」という恩師の言葉がとても印象に残っています。そのため、知識、技術を身に付けることはもちろんですが、患者様の心に寄り添い、その人らしさを大切にできるような理学療法士を目指して頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



杉 田 杏紗美

病院名：東近江市能登川病院
出身：滋賀県
趣味：バレーボール

ひとこと： 患者様に合わせたより良いリハビリテーションが提供するために、コミュニケーションを大切に、患者様との関わりの重要性を常に忘れないよう気を付けていきたいと思っています。また、理学療法士として、知識・技術もしっかりと身に付け、良い治療が提供できるように自己研鑽に励んでいきたいです。さらに、患者様と接する時間を大切に、身体面だけに目を向けるのではなく、精神的な悩みや辛さにも気が付ける理学療法士を目指したいと思っています。



丸 岡 雅 俊

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：ゴルフ、ドライブ、インテリア収集 etc

ひとこと： 神崎中央病院 リハビリテーション科
1年目 理学療法士の丸岡雅俊です。

4年間、京都の専門学校にて理学療法士の勉強を行い、地元である滋賀の地で働かせて頂くこととなりました。

専門学校における臨床実習を通じて、脳血管障害や呼吸器疾患に対する理学療法に興味を抱き、将来的にはこれらの分野の認定理学療法士の資格を取得したいと考えています。

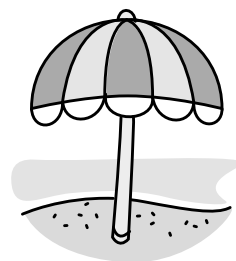
また、訪問リハビリテーションなど、地域に密着した理学療法を行っていききたいので、日々自己研磨に励み、幅広い知識と技術をもった理学療法士になれるよう頑張っていきたいと思っています。



鷺 見 三四郎

病院名：神崎中央病院
出身：滋賀県
趣味：水泳

ひとこと： 4月から晴れて理学療法士になる事が出来ました。神崎中央病院の鷺見三四郎と申します。性格は内気なので声をかけて頂けると嬉しいです。今後の目標として先輩方の技術・知識を盗みいち早く一人前の理学療法士になる事です。呼吸器・運動器・脳血管・スポーツなど全ての分野に興味があり勉強会に参加し幅広い知識・技術の向上を目指そうと思うのでアドバイス・ご指導を宜しくお願いします。



がん医療の提供

がん患者が安心してがん医療を受けるためには、質の高いがん医療や、入院治療から在宅医療に至るまでの切れ目のないがん医療を提供していくことが重要です。

このため、がん医療の圏域による格差をなくし、地域のがん医療の水準を向上させるため、がん診療連携拠点病院が中心となって地域連携クリティカルパスの整備を図るなど、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関との連携に向けて取り組んでいます。

※「がん診療連携拠点病院」とは、地域におけるがん診療の拠点となる病院を指定する制度であり、国の制度と本県独自の制度があります。

■国の制度

◆都道府県がん診療連携拠点病院（滋賀県立成人病センター）

地域がん診療連携拠点病院に対する診療支援、医療従事者に対する研修の実施など、県内のがん医療のコーディネーターの役割を担う。知事の推薦に基づき厚生労働大臣が指定。

◆地域がん診療連携拠点病院

（大津赤十字病院、市立長浜病院、公立甲賀病院、彦根市立病院）

各圏域において、専門的ながん医療の提供を行うとともに、圏域内の医療機関に対する診療支援、医療従事者に対する研修、患者等に対する相談支援などを行う。知事の推薦に基づき、厚生労働大臣が指定。

■県独自の制度

◆滋賀県がん診療連携拠点病院（滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立成人病センター）

上記、都道府県がん診療連携拠点病院の機能と同じ。本県では、独自に滋賀医科大学附属病院と県立成人病センターの2病院を知事が指定。

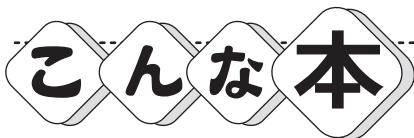
◆滋賀県がん診療高度中核拠点病院（滋賀医科大学医学部附属病院）

がん医療における高度先進医療を提供するとともに、医師等の人材支援、人材育成の中核を担う。知事が指定。

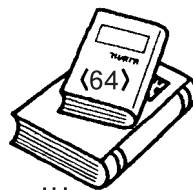
◆滋賀県がん診療広域中核拠点病院（大津赤十字病院）

大津圏域における専門的ながん医療の提供に加え、広域的に専門的ながん医療の提供を行う。知事が指定。

—滋賀県のホームページより引用—



読みました！



済生会滋賀県病院 理学療法士 小 藤 大 樹

大学入学まで全国的にはほとんど無名だった長友選手が、どのようにして世界のビッグクラブであるインテル・ミラノで活躍できるようになったのでしょうか？

そこには長友選手がこれまでの生き方によって身につけた「上昇思考」が関わっているとこの本を読んで感じました。

人は失敗をしてしまったり、自分の思ったように物事がすすまない時、どうしてもネガティブな思考になりがちです。そういった時は心に余裕がなくなり、ますます失敗してしまう可能性が高まります。

長友選手は失敗を「天が与えてくれる試練」と表現しています。ミスをしなければ何も学べないと考え、失敗した際には「いま、このミスをしてよかった」と感じているようです。失敗したことに対しては、素直に受け入れ、二度と同じ失敗を繰り返さないよう、原因を追究し成長の糧とします。

経験の全てをプラスにする思考を常にもっている長友選手に憧れをもち、自分もこういった思考をもちたいと思いました。

【題 名】

上昇思考

—幸せを感じるために大切なこと—

【著者名】

長友 佑都

【出版社名】

角川書店



「脳卒中者友の会『淡海の会』大運動会に参加して」

大津市民病院 理学療法士 並 河 孝



平成 24 年 6 月 30 日（土）10 時～ 滋賀県立障がい者福祉センター（草津市）にて第 11 回大運動会が開催されました。天気予報では曇りから雨マークでしたが、屋内体育館内の競技ですので、雨の心配はありません。また屋外と違い、床材が木製で参加者の皆さまや子どもさんには動きやすい素材で、皆さん元気よく動かれていました。参加者は会員・ご家族・ボランティアの総勢約 50 名が参加されていました

北條（ほうじょう）会長の挨拶のあと、ボランティアさんの紹介があり、ナルク※から 5 名と大津市保健所の理学療法士大橋氏と私の計 7 名であった。準備体操をした後、プログラム 1「めがせホールインワン」から始まった。このゲームの方法はグラウンドゴルフのクラブを使い、2 m、3 m、4 m の距離におかれたホールポストに向かって打ち、ホールインワンをするゲームです。それぞれの距離で 3 球ずつ打ち、一回で入ったら一点となる。家族の方も子どもさんも真剣に挑戦し楽しんだ。

車いすの人も打つ時は立ち上がり真剣にボールと向かい合っていた。次に「ニアピンゴルフ」で、約 30 メートル先のホールポストに向かって打ち、一番近い人が優勝の個人競技です。一球打つたびに「5 メートル〇〇センチ」と距離が報告され、拍手されていました。そのような中、一人の女性が打った球がホールポストに向かって一直線・・・ずばりホールの中に吸い込まれていき、ホールインワンの大記録となった。直後に大きな歓声が起こり、周りの人の喝采に打った本人は、何が起こったのかわからないくらい大きな声と拍手であった。お昼前のお腹が減ってきたタイミングに「パンくい競争」があり、子どもさんも参加者・ボランティア全員が楽しんだ。お昼はみんなでお弁当を食べ、午後からは、サイコロベースボールとペタンクで楽しんだ。日頃のリハビリ訓練場面では見られないくらい落ち着いた表情で競技に集中し、熱心に一つひとつに真剣に取り組んでおられた。正に“心が動けば、身体が動く”実践の場であった。

毎年、同じ時期に開催され、リハビリ専門職のお手伝い（ボランティア）が募集されます。是非多くの方の協力を宜しくお願いいたします。

※ナルク NALC「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」は、“自立・奉仕・助け合い”をモットーに、幅広い年齢層が参加する日本最大の遠隔介護ボランティア団体で、日本の活動拠点は 137 拠点、会員 30,000 名が“生涯現役”を合い言葉に活発に活動している団体です。



第3回 施設対抗フットサル大会

参加チーム募集

今回で3回目となる施設対抗フットサル大会を企画いたします。

試合中の交代も自由ですので、初心者の方でも気軽に参加していただけます。観戦のみでも大歓迎です。優勝チーム等に賞品もあります！

前回多くの先生方にご参加頂きましたので、今回は2コート用意しました。皆さんで楽しむとともに士会員同士が交流する良い機会になれば幸いです！詳細は下記の通りです。



前回集合写真

【日 時】 平成24年10月14日(日) 10:00～17:00 (予定)

【場 所】 ジョイフットサルプラザ フットサルコート (能登川)

※雨天順延の場合：平成24年10月21日(日)で調整中。参加チームに後日ご連絡致します。

【参加要項】

1 施設から1チームのみ(5人以上)の参加とさせていただきます。グループ施設混合チーム、近隣施設混合チームでも構いません。参加費は500円/人です。

男性、女性、どちらでも参加して頂けます(男女混合チームはフィールドに6人出場可能)。

参加チームの構成について、PTの先生を代表者としていただければ、OT・STの先生でも参加可能です。また、医師・看護師・介護士など施設スタッフの参加も認めます。

大会運営およびスポーツ保険加入のため、参加者のメンバー表の提出をしていただきます。エントリー時に詳細をお伝えします。

参加して頂ける施設の代表先生は、9月15日までにE-mailにてお申し込み下さるよう宜しくお願い申し上げます。また、ご質問等あれば遠慮なく下記連絡先へお問い合わせ下さい。

申し込み先：shibut@belle.shiga-med.ac.jp

連絡先：滋賀医科大学医学部附属病院

リハビリテーション部 渋川 武志

TEL：077-548-2670 (直通)

申し込み締め切り：平成24年9月15日(土)



厚生部 お知らせ

滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ 開催のご案内

毎年恒例のゴルフコンペを今年も開催します。県士会員であれば上級者はもちろん初心者、女性など老若男女、腕前は問いませんので気軽にご参加ください。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成24年9月22日（土曜日、祝日）

午前9時頃のスタートを予定しています。

場 所：滋賀甲南カントリークラブ(予定)

参 加 費：¥13,000程度

申し込み：下記メールアドレスに氏名、所属、連絡先（E-mail）、平均スコアを明記しお申し込みください。詳細に関しては後日E-mailでお知らせします。

E-mail：smaegawa@belle.shiga-med.ac.jp

締 切：平成24年8月24日(金)

問合せ先：滋賀医科大学附属病院リハビリテーション部 前川

TEL 077-548-2670（直通）

第一回研修会報告

公立甲賀病院リハビリテーション課 理学療法士 井 上 将 太

自分は患者さんのCT・MRIを確認する際に血腫・梗塞部の大きさや損傷部位の確認を行う程度しかできていませんでした。今回、「CT・MRI所見から脳卒中患者の臨床症状を理解する」という研修会に参加させて頂きました。詳しい脳の機能解剖や損傷部位から臨床症状を予測できるという自分にとって新しい考え方を持つ事ができました。

また、損傷部位による臨床症状の理解だけでなく画像診断の仕方や方法も同時に学べる事ができ、この研修会に参加して本当に良かったと思いました。

今後、脳卒中患者に対してリハビリテーションを行う際にCT・MRIの損傷部位で臨床症状を予測しながら、どんなアプローチが必要か考える事が非常に重要な事だと気付かされた研修会でもありました。

自分は理学療法評価で症状を判別していくという考え方を持っていましたが、例えば脳卒中患者のCT・MRIを実際に見ながら損傷部位からこのような症状が予測でき、このようなアプローチが効果的であるといった内容の講演を聞いて、画像から症状を考える事ができるという新しい考え方を学ぶことができました。

最後に1年目の自分でも非常にわかりやすい講演をして頂いた事とカラーでわかりやすい資料を頂いた事で、今後勉強をしていかなければ患者さんを診られないという考えを持つ事ができ、自分のためになった研修会でした。



Let's study.

8月分

平成24年度 滋賀県理学療法士会 第3回研修会

日 時：平成24年10月21日（日）10時～15時
会 場：ひこね燦ぱれす
テーマ：『慢性疼痛症候群の行動変容療法』
講 師：嵩下敏文先生（清泉クリニック整形外科）
申 込：平成24年9月16日（日）～10月14日（日）
必着

※研修会費：県士会員・学生 無料
他士会・他職種 1,000円

なお、件名には必ず「第3回研修会申し込み」と
ご明記下さい。件名に入力が無い場合、迷惑メール
と判断がしにくくなり、申し込みを見落とす可能性
がありますのでご協力下さい。

アドレス：ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp
公益財団法人近江兄弟社ヴォーリズ記念病院
リハビリテーション科 清岡哲也 宛

研修会の申し込み期間内に下記のアドレスまでメ
ールにて、当士会員の方は氏名・所属をご明記の上
お申し込み下さい。なお他士会員及び他職種の方は
氏名・職種・所属・TEL・FAXをご明記の上お申
し込み下さい。



公益社団法人日本理学療法士協会 内部障害理学療法研究部会代謝班 平成24年度糖尿病理学療法研修会（教育）

概 要

生活習慣病患者に運動療法を継続させるために必
要な行動変容の科学的な理論を学習し、理学療法
士が現場で活用できる実践的な知識と技術を研修
する。

日 時 平成24年8月25日（土）12時受付開始
～26日（日）16時

場 所 大阪労災病院大阪府堺市北区長曾根町
1179-3

対 象 公益社団法人日本理学療法士協会員

内 容

第1日目

- 題目1 生活習慣病患者の運動継続を目的とした
行動変容技法：理論とアプローチの整理
講師：辻下守弘（甲南女子大学）
題目2 生活習慣病患者への行動変容アプローチ
の実際
講師：坂根直樹（国立病院機構京都医療セン
ター）

第2日目

題目1 小児糖尿病に対する理学療法教育

講師：本田寛人（公立豊岡病院日高医療セン
ター）

題目2 糖尿病理学療法における個人指導：理学 療法評価結果を指導に生かすための知識

講師：野村卓生（関西福祉科学大学）

題目3 糖尿病理学療法における集団指導：エク ササイズガイドの活用の実際

講師：浅田 史成（大阪労災病院勤労者予防
医療センター）

題目4 糖尿病教育入院、特定健診・保健指導に おける理学療法教育の実際

講師：永嶋道浩（市立伊丹病院）

参加費 15,000 円

定 員 60 名

〒669-5392 兵庫県豊岡市日高町岩中81
公立豊岡病院日高医療センター（井垣 誠）
Tel.0796-42-1611

E-mail：dmptosaka@yahoo.co.jp

主 催 公益社団法人日本理学療法士協会

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

事務局 ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

入会 異動 財務関係 メーリングリスト登録 公文書発送

今年度より異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになりました。

<http://www.japanpt.or.jp/>

hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、本文には、氏名、所属施設、会員番号（新入会の方は必要ありません）を記入して平岩までメールしてください

士会員メーリングリストアドレス shigapt-ml@freeml.com

発送物関係

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までに申し出ください

ホームページ原稿受付

4月より変更になりました

kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

会員専用ページ ユーザー名 shiga-pt-75 パスワード since1975

士会ニュース原稿受付

shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

研修関係

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリス記念病院 清岡

生涯学習関係

h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

厚生事業関係

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市立蒲生病院 奥田

会長行動録

5月10日(木) 理事会

5月20日(日) 定期総会

5月20日(日) 臨時理事会

5月21日(月) 介護給付費審査委員会

5月26日(土) 滋賀医科大学記念式典

6月2日(土) 近畿士会会長ブロック会議(大阪)

6月8日(金) 協会法人化記念式典(東京)

6月9日(土) 第41回定時総会(東京)

6月17日(木) 理事会

6月18日(月) 県医療審議会

6月24日(日) 新人研修会講師

6月24日(日) 新人歓迎会

事務局 だより

8 月分

○会員数 660名（平成24年7月1日現在）

○賛助会員 5社

要な方の氏名、施設名

入会および会員異動手続きについて

協会ホームページにて会員異動や入会手続きが行えます。今後はできるだけWEB上での手続きをお願いいたします。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

新ホームページが完成いたしました。ホームページに掲載したい記事がございましたら滋賀医大岩井までメールしてください。

kojin@belle.shiga-med.ac.jp

会費納入のお願い

平成24年度の会費納付をお願いいたします。

会費納付先 滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通
741056 シガケンリガクリョウハウシカイ

会費 新卒1年目 19,000円（入会金5,000円、
協会費5,000円、士会費9,000円）

2年目以降 20,000円（協会費11,000円含む）

新卒以外の入会者 25,000円（2年目以降の
会費+入会金5,000円）

尚、日本理学療法士協会ではクレジットカード払いによる会費納入の一元化を進めております。やむを得ない事情以外での士会での会費徴収を控えていく予定です。できるかぎり楽天カードへの切り替え、または加入をお願いいたします。クレジットに加入されない事情のある方は平岩までご連絡ください。

会費の領収書が必要な方は会費納付後（会費未納の方の分の依頼がよくありますので十分確認してください）、施設ごとにまとめて下記の事項をメールに記載してこちらに送ってください。

必要事項：領収書宛先、送付先、領収書の必

協会費クレジットカードの切り替えについて

Nicosカードから楽天カードへの切り替えをなるべく速やかに行っていただきますようお願い申し上げます。手続きは協会の会員専用サイト<http://www.japanpt.or.jp/gl/> より行ってください。

この件に関するお問い合わせは日本理学療法士協会事務局 TEL 03-5414-7911までお願いいたします。

会員証について

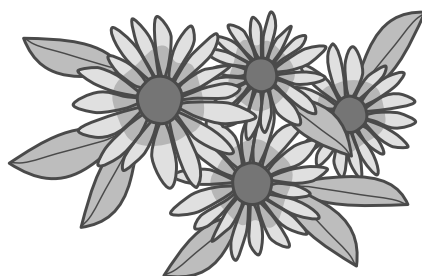
協会より配布された新会員証は大切に扱ってください。また、協会または士会主催の研修会や学会参加時には必ずご持参ください。参加登録に必ず必要となります。

異動届、入会届送付先 会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院
院リハビリテーション部 平岩康之 宛

問い合わせ hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp





編集後記

先日、第27回滋賀県理学療法学会に参加させて頂き、今回の学会を成功させるのに大変、御苦労があったと思います。学会長、準備委員長、関係スタッフの方々に感謝いたします。

このニュース発行にも、たくさんの方々が関わって頂いています。士会員の先生方に、ニュース発行に関わって頂いている方々の心が少しでも届くことをお祈りしています。

M・Kより

広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

http://www.aino.ac.jp